

援助・配慮が必要な方へ

# 「ヘルプマーク」の配布開始

公明党横浜市会議員団 仁田まさとし

義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方など、外見から分らずとも援助や配慮を必要とする方が周囲にそれを知らせるための「ヘルプマーク」の配布が3月22日から各区役所の高齢・障害支援課で始まりました。

トが描かれており、バッグなどに付けられるヘルプマークなど、思いやりの行動を促すようにと、都議会公明党が提案し、2012年に東京都が始めたマークです。

## 思いやりの行動を

ヘルプマークを身につけた方を見かけた場合は「電

程度が大ききで、赤い樹脂製の素材に白い十字とハー



**仁田まさとし プロフィール**

- 国際・経済・港湾委員会
- 大都市行財政制度特別委員会(副委員長)
- ◇施政方針は「動く、創る、変える。」
- ホームページ <http://www.nitta-m.jp/>
- 情報発信中



をかける」など、思いやりのある行動をしていただければとの思いがこもっています。

災害時などに、視覚や聴覚に障害があり、状況把握が困難な方や、肢体に障害があり、自力で迅速な避難が困難な方など、さまざまなかたへのサポートにつながればと思います。

この東京発のヘルプマークは全国の公明党ネットワークで推進しており、横浜

市会では公明党市会議員団 一般質問で初めて取り上げが昨年5月の定例会本会議 配布が実現しました。

## 特別自治市の早期実現を

市会定例会が5月16日か

ら6月6日まで開かれまし  
た。この中で所属委員会が  
決まり、私は国際・経済・  
港湾委員会と大都市行財政  
制度特別委員会(副委員長)  
の所属になりました。特別  
委員会では、市が目指す大  
都市制度「特別自治市」の  
早期実現と、その実態に合  
った行財政制度の確立へ向  
けた議論を行います。

市は人口減少・超高齢化  
社会への対応や、神奈川県  
との二重行政などの課題解  
決に向け、国の事務以外の  
地方事務を二元的に担い、  
仕事に応じた税財源を確保  
できるよう、特別自治市の  
実現を目指しています。実  
現すれば、行政費用の削減  
実現を目指します。

で、税収減による県内自治  
体への影響など、考えるべ  
き課題も多いのも事実で  
す。特別委員会では、これ  
らを踏まえ、市民のみなさ  
まに制度を理解していただ  
けるよう、議論します。

私は今後もヘルプマーク  
の推進、特別自治市の早期  
実現を目指します。